

命と心を 育む社会を目指して

佐賀県議会議員

下田ひろし県政報告

発行

佐賀県議会議員 下田 寛

〒841-0026

佐賀県鳥栖市本鳥栖町1542

TEL090-4994-8312 E-mail:hiroshi_shimoda_bmse13@yahoo.co.jp

vol.17

2024年1月

鳥栖八坂神社で新年の参拝へ

「再議」と「凍結」

今議会では「一般質問」「特別委員会質問」「常任委員会質問」と3回登壇の機会をいただき、しつこく表題の件を問いました。

令和5年11月定例議会

県立大学については、より内容を深掘りするために専門家を招致するための、「具体化プログラム 800万円」の議案が審議の対象となりました。自民党からこの議案をゼロにする修正案が提出されましたが、結局自民党の賛否が割れ、私も初めて体験した「再議」により、「具体化プログラム」は可決しました。

なぜ、市村は凍結なのか？

今議会で最も納得していないのは、約5年間練り上げた、全国に先駆けた市村記念体育館の改修計画が凍結されたことです。物価高騰により予算が20～30億円高騰（総額70～80億程度）することから一旦凍結し、時期を見て再開するとのことでした。

しかし、国からの助成金が23.5億円確保されており、民間からの寄付金も大いに検討できる中で凍結すると、明らかに時期を逃すことが納得できず、知事に疑問を投げかけました。知事からは「いずれ花開くようにしっかりと検討していきたい」と、凍結解除に至りませんでした。かなりの熱量で答弁をいただきました。



県立大学の建設費は200億円

知事の3期目最大公約である、「県立大学」は、国からの助成金などは全くなく、佐賀県の財源のみで最大200億円の建設費と提示されています。市村記念体育館は最大80億円の事業費で、国の助成金や民間の寄付金が見込まれる中での凍結。一方で、県立大学は佐賀県の財源のみで最大200億円の建設費。

今はまだ、県立大学の内容を詰めている段階なので、大学の建設費に関する議論はまだ下火ですが、市村記念体育館同様、内容を詰めた後は、必ず建設費の話に行き着くわけですね。果たして、市村記念体育館が「凍結」となったことを踏まえると、県立大学の建設費の議論が、そのまま進捗するとは思えません。この点をしつこく問いましたが、明確な答弁はありませんでした。

市村記念体育館増額の内訳

地域交流・県土整備常任委員会で、「市村記念体育館の増額の内訳を示せ」と問いました。「物価高騰による上昇によるもの」という答弁でしたが、その内訳を示すよう求めましたがなぜか答弁できず。議員になって初めて、委員会審議をストップさせてまで協議したにも関わらず、明確な答弁はありませんでした。

県立大学の建設はこのまま進むのか？

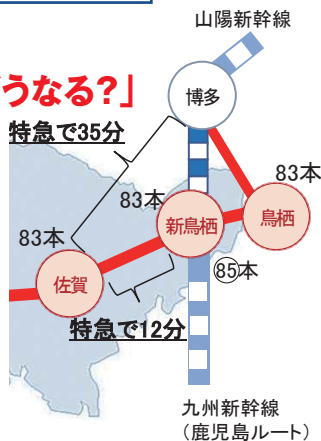
今議会が採めたのは、未来に向けた大事業である県立大学の事業について、「まだ議会が指摘しているデータが出てきていない」ことが根底にあります。あくまで今議会の議案は、「専門家を招致して内容を詰めること」が目的です。議会の総意として、県立大学が少子化が進む中で本当に未来に耐えられる内容であるかを見極めたいという思いが強くなります。その点では、まだ議会は大学建設そのものに賛成の意思表示はしていません。未来に向けた非常に大きな議題であり、更に慎重な審議を行わなければならないと感じています。

西九州新幹線長崎ルート

「フル規格が進んだら鳥栖の鉄道環境はどうなる？」

フル規格が進んだ場合、県が想定している鳥栖駅・新鳥栖駅の鉄道環境の変化を問いました。結論として、鳥栖の恵まれた鉄道環境は大きく損なわれるだろうという想定です。

鳥栖市のまちづくりについて、先人が築いていただいた鉄道分岐や、圧倒的な交通利便性を如何に守るのかは、県を挙げて議論すべきことです。また、国においても、フル規格の佐賀県におけるメリットをしっかりと提示しなければ、議論も膠着状態のままでしょう。民間の方々のご意見も反映しながら、鳥栖を中心にした九州の鉄道の在り方を議論して参ります。



※令和5年4月時点
※停車本数は上下合計の数

〈フル規格が新鳥栖駅で分岐の場合〉

	現状	フルの場合 (想定)
新鳥栖駅	九州新幹線 85本 特急列車 83本 西九州新幹線 0本	大幅減 83本 ⇒ 0本 ⇒ ?本
鳥栖駅	特急列車 83本	⇒ 0本
	計251本	

- ・ 特急は、新幹線に振り替わるため、全てなくなる。
- ・ 九州新幹線は、新鳥栖駅を通る新幹線92本中85本が停車。これは長崎本線の特急との乗換需要があるため。

フル規格となれば、鳥栖の恵まれた鉄道環境、鳥栖市の利便性、可能性が大きく損なわれる可能性

佐賀県作成

活動報告写真 10月

10月は、特に県立大学に関する視察で各地を訪問しました。私達が学生の時とは社会情勢や学校を取り巻く環境は全く違い、教員確保、教員の研究費、民間企業との連携、

福岡山公立大学



公立はこで未来大学



舞鶴高等専門学校



学生の学ぶ環境の充実、社会から求められる能力など、どの学校も少子化時代の生き残りを賭けて、最先端の環境づくりに注力されており、大変勉強になりました。議会ですべての取り組みについて質問をしました。

京都工芸繊維大学



釜山外国語大学



11月 第3回「花とみどりの祭り」



第62回鳥栖市民文化祭〜とすフェス〜と同日開催となった祭典。花と緑で潤うまちづくりを目指して、私も植樹をさせていただきました。

国道34号線の要望活動

鳥栖市・三養基郡・神埼郡の首長・議長と県議会議員で上京し、国土交通省などの関係する役所や国会議員を訪問し、国道34号線の拡幅等の要望活動を行いました。



鳥栖山笠がSAGAアリーナへ



SAGAアリーナで開催された、第6回佐賀県伝統芸能祭に鳥栖山笠が登場！地域の伝統芸能がこういう形で披露されるのは新しい形。アリーナの中を駆け巡る山車は、迫力に溢れていました。

12月

各地の地域食堂や餅つきなどに参加させていただきました

基里地区もちつき大会（基里まちづくり推進センター）



若葉地域食堂（若葉まちづくり推進センター）



本町食堂（本町会館）



しめ縄づくり（本鳥栖町公民館）



毎年恒例、本鳥栖町の水影天神社でしめ縄を作り、新年を迎えました。

中央区もちつき大会（中央区会館）



ぽかぽか食堂（鳥栖まちづくり推進センター）



年越



あとかき

明けましておめでとうございます。新年早々、能登半島地震や航空機の炎上など、痛ましい災害や事故が起きました。1日も早い復旧復興と、安寧な生活が戻りますことを心から祈念申し上げます。

より重心を低く、皆様のご家族や地域がしっかりと守られる地域づくりと国づくりを目指して励んで参ります。今年もよろしくお願い致します。

登録
お願
いし
ます



<https://lin.ee/opcwman>

討議資料

